

単元名：

「水はどこから」

(全 10 時間扱い中 第 4 時)

授業日時 2019 年 9 月 2 日 (月) 第 2 校時

授業学級 4 年西組

授業会場 4 年西組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

浄水場が川の水をどのようにして、安全な飲める水にしているのか調べることができる。

(2) 授業のポイント

- ・松本市の川やダムを調べる場面で、日常生活における水について興味をもっている子ども達が、水源を守る仕組みを学習した。【前時までの子どもの様子】
- ・動画やパンフレットを読みとる活動を通して、浄水場の仕事や役割について学習する。【授業者の手立て】

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◎児童の反応・◇留意点・★教材	時間
導入	1. きれいな水と飲める水の違い。 問題:浄水場はどのようにして、川の水を飲める水にしているのだろうか。	○「先生がろ過したこの水って飲めるのかな？」 ◎「飲める。」「飲めない。」 ○「どうして飲めないの？」 ◎「きれいじゃないから。」「安全じゃないから。」 ○「水道水はどうして飲めるの？」 (意図)水道水が安全できれいな水であることに注目するため。 ◎「浄水場がきれいにしているから。」 ★ろ過装置を使い、透明な水が安全であるか疑問をもたせる。	10分
	【学習課題】資料を読んだり、水道局の人に仕事を聞いてみたら川の水が飲める水になる仕組みがわかりそうだ。		
展開	2. 水道局の仕事を知る	★水道局の仕事の動画を見て、全体的な水道局の仕事を知る。 ○「動画を見て、思ったことや考えたことを書いてみよう。」 ◇ワークシートに動画を見て、学んだことや思ったことを書くようにする。	8分
	3. 動画を見て読みとった内容を発表する	◎「浄水場では、ゴミを沈める薬や魚を使って水が安全か調べていることがわかりました。」「いろいろな薬を使っていることがわかりました。その薬がどんな薬なのか気になりました。」 ◇動画からでた疑問や薬品の名前については、教師が口頭で伝える。	6分
	4. 長野県の水道局のパンフレットの資料を見る	★長野県の水道局のパンフレットを印刷し配布する。 ★長野県水道局の資料を用いて、地域の水道局の仕事を知る。	10分

	5. 資料から読みとった内容を発表する	<p>◇ワークシートに資料から読みとったことや思ったことを書くようにする。</p> <p>◎「川の水は沈砂池や薬品沈殿池、急速ろ過池などを使って水道水になっていることがわかりました。」</p>	6分
【評価(対象)】浄水場の働きを資料から読みとり、書くことができる(ワークシート)			
終末	6. 感想や疑問を書き、発表する。	<p>○「今日学んだことや考えたこと、もっと調べてみたいことや浄水場の人に聞いてみたいことを書いてみよう。」</p> <p>◎「浄水場では、ゴミを取り除くだけでなく、薬品などを使っていることがわかりました。」「浄水場がどのようにしてきれいな水を作っているのか知ることができて良かったです。」「水道水を作るのにどのくらい時間がかかるのか気になりました。」</p>	5分